

第100回  
**全国高校野球選手権大会**  
 第4日

光星  
**甲子園だより**

松谷 隆誠 捕手(3年)



「おまえに託す」。けがでベンチを外れた仲間がそう言って渡してくれたお守りが、カバンの前ボケットに入っている。あ

**仲間の思いも背負って**

いつの分まで一生懸命やりたい」と勇んでいる。冬場の自主練習で打撃を徹底的に鍛えた。春先の関西遠征中の練習試合では3本塁打と躍動。「右方向へ打っていると調子がいい」といい、8日目の打撃練習でも快音を連発。「代打を任されることが多いので、ワンチャンスをもにしたい」(大阪府・藤井寺中出身 173センチ、78キロ、右投げ右打ち)

**100回大会記念展  
 光星ナイン見学**

OB父が案内

第100回全国高校野球選手権に出場する本県代表・八戸学院光星ナインは8日、高校野球発祥の地である大阪府豊中市の市立文化芸術センターで開催中の「100回大会記念展」を見学した。

ナインは同日午後の練習が終わった後、ユニホームのまま同センターに会場。光星OBでプロ野



球巨人の坂本勇人と同期、さん(63)が案内した。過去の大会の写真パネル、同市市議の大町裕次や、決勝大会の新聞記事、

100回大会記念展で歴代優勝校のユニホームなどの展示を眺める光星ナイン(8日午後、大阪府豊中市)

歴代優勝校のユニホームを前にナインは大はしゃぎ。裕次さんは「100回記念大会でっぺんを目標してほしい」とエールを送った

豊中市は、全国高校野球選手権の前身である全国中等学校優勝野球大会の第1、2回大会が開催された「豊中グラウンド」があったことから、高校野球発祥の地として知られる。(高松拓輝)